



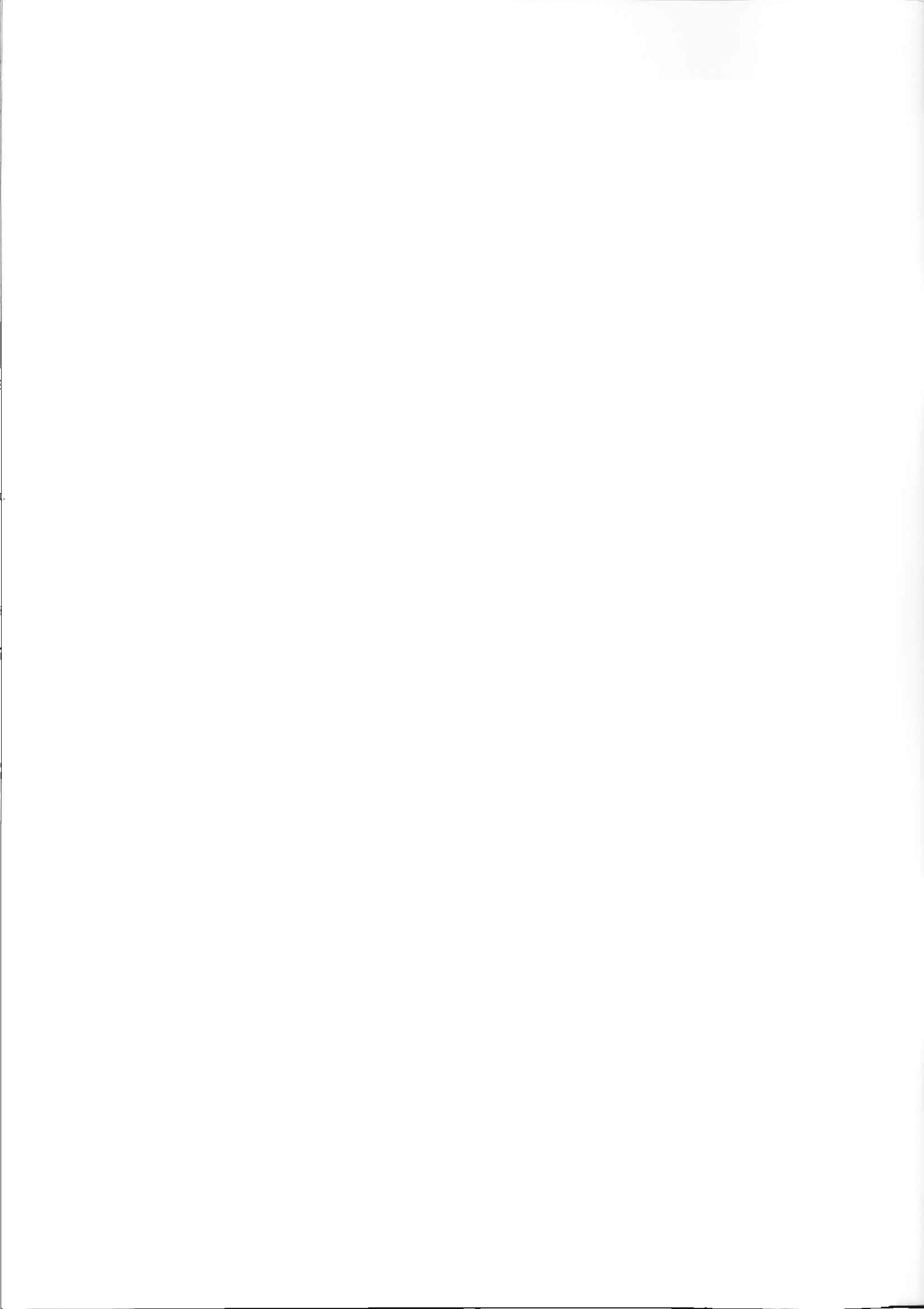
大妻女子大学

総合情報センター
年報

第3号

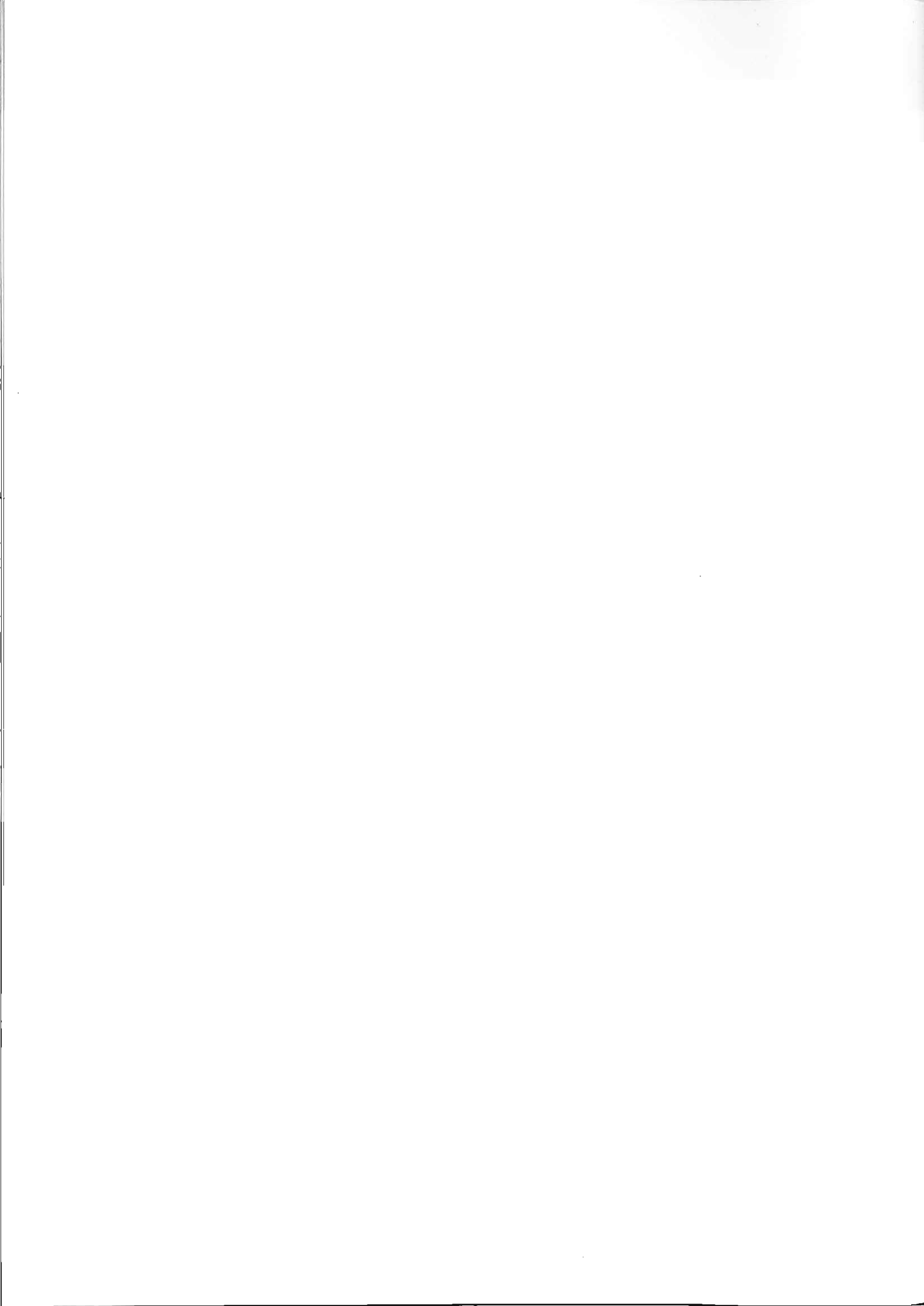


2010年度



総合情報センター一年報 第3号 目次

巻頭言 総合情報センターの方向 総合情報センター所長 栗原 裕	3
2010年度総合情報センター業務報告	4
2010年度総合情報センター〈図書館グループ〉業務報告	6
2010年度総合情報センター〈メディア教育開発グループ〉業務報告	19
2010年度総合情報センター決算報告	23
事業計画予算申請について	24
2010年度総合情報センターの組織とスタッフ	27
大妻女子大学総合情報センター規程	28
大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程	29
総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ沿革	30
総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧	32
2010年度総合情報センター運営委員	36



● ● ● 巻頭言 総合情報センターの方向 ● ● ●

総合情報センター

所長 栗原 裕

スフィンクスがテーベの民にかけた謎は、朝4本足、昼2本足、夕3本足のものはなにか、というのであった。答は人間。赤子のときははいはい、長じて2足歩行、老いて杖の助けを借りるからだ、と。杖が足に数えられている。別の言い方をすれば、杖は人間の足の延長である。同じように、眼鏡は目の、衣服は皮膚の延長、いや、その人の1部である。

そういう言い方をして行くと、究極のところ、人間の作り出すいっさいの人工物が人間の身体や精神の延長にほかならないことになる。メディア論では、それをメディアと呼ぶ。それはテクノロジーと言っても同じである。

マクルーハンによれば、人類史において、圧倒的に重大なメディアの1つが書字とそれに続く活版印刷の技術、もう1つがエレクトロニクスの技術である。メディアが曲者であるのは、人がそれを自在に駆使していると思っていると、人のほうもメディアによって成型されているという事態になるところである。西欧数千年の書字と数百年の活字印刷のメディアは、その恩恵に浴した人びとをついに活字人間に成型してしまった。几帳面で、手順にうるさく、1度に1つ、筋道を立てて、論理的に、すべてを活字印刷のごとく画一的・線条的に思考を繰り広げる人。視覚偏重の目の人で、遠近のバランスに神経質で、距離をとる。なんのことはない、それこそ、われわれのことである。

20世紀中葉、先進文明地アメリカではもう1つのメディアの侵襲を受ける。電気のメディアに生きると、われわれの中樞神経組織が技術的に拡張して、人類全体を自身のうちに巻き込み、それを同化するまでに到るから、われわれは自身の責任の自覚を極度に高めてしまった。電気の速度は判断の先送りを許さない。活字文化が培った超然としたわれ関せずの態度はありえないのである。電気メディアが成型する人間がどのような姿を呈するか。目の粗い走査線のテレビ画像に吸い込まれて育ち、若年においてパソコンとケータイを自在に駆使する。あらゆる点で、活字人間と対照的な特徴を呈するにちがいない。感覚比率は触覚的（すなわち全感覚的）で、対象に巻き込まれ、瞬間的に判断ができる、などなどが特徴か。

象徴的な事例を1つ。教育の現場で学生生徒参加型の授業がいち早く歓迎されたのはアメリカであった。遅ればせながら、いま日本の大学では学生参加型で双方向型の授業運営が歓迎されている。大学評価の際のテーマにすらなるほどである。活字文化全盛のもとでは、それは重要事項にならなかった。

わが国で活字人間と対照的な特徴を示す事になった電気人間がいつ成型されたかは突きとめにくい。大まかに言っている若い世代はほとんどそうなのではないか。このことは本学の総合情報センターにとって課題になりうる。図書館部分は依然として活字文化人間向けに展開されている。メディア教育部分は電気メディアを扱っているが、電気メディアを呼吸するところまでは到っていない。活字文化の支配を受けた教育カリキュラムにおいて、情報メディア機器の操作支援という役割に専念しているからである。電気のメディアの洗礼を受けてしまった学生たちに対応するには、図書館もメディア教育ももっとそれ向きになる必要があるかもしれない。昨年からはじめた図書館ラーニング・コモンズの月1回の催しは出演講師が半年以上先まで決まっているという盛況ぶりである。聴衆以上に講師陣にとって参加型の催しとして歓迎されているのが先進的である。

2010年度 総合情報センター業務報告

1. 運営委員会

2010年6月5日（土）に第1回総合情報センター運営委員会を開催し、2010年度事業計画予算採択結果について報告がなされた。また、各グループの2009年度業務報告、決算報告、2010年度業務計画、予算案、及び「大妻女子大学総合情報センター規程」の改定について審議を行った。

第2回総合情報センター運営委員会は、2011年度事業計画予算申請（案）について9月22日（水）から9月30日（木）に文書回覧で審議を行った。

2. 2010年度 私立大学等経常費補助金について

2010年度総合情報センターでは高度情報化推進メニュー「ICT活用教育研究支援」の以下の項目について補助金申請を行った。

1) 情報通信設備を活用した教育研究

①情報通信設備の基盤整備及び維持

コンピューター、ネットワークを活用した授業科目の設定、e-ラーニングを活用した授業の実施、遠隔教育の実施、ラーニング・マネージメント・システムの導入、オープン・コース・ウェアの導入など情報通信設備を活用した教育研究の実施を対象に、学生数、情報処理関係教室及び自習室、CALL教室、視聴覚教室、研究室等の教室数やサーバ及びパソコン台数、ソフトウェア本数を調査集計した。

②教育研究情報電子化

電子ジャーナル、逐次刊行物、紀要等の教育研究の成果に関するもの、教育研究の資源に関するもの、教育情報に関するものを対象とし、利用情報の構成、タイトル数、ライセンス数、同時アクセス数、利用可能PC数、利用範囲などを調査集計した。

2) 大学独自のデータベースを活用した教育研究

一次情報、二次情報のデータベースで学内LANに接続されているもので、主に教育・研究を目的とし、教育研究内容との関連性により教育研究の進展が期待できるものを対象とし、稼働開始日、利用範囲、利用パソコン台数などを調査集計した。

各項目について申請した結果、内示額は次の通りとなった。

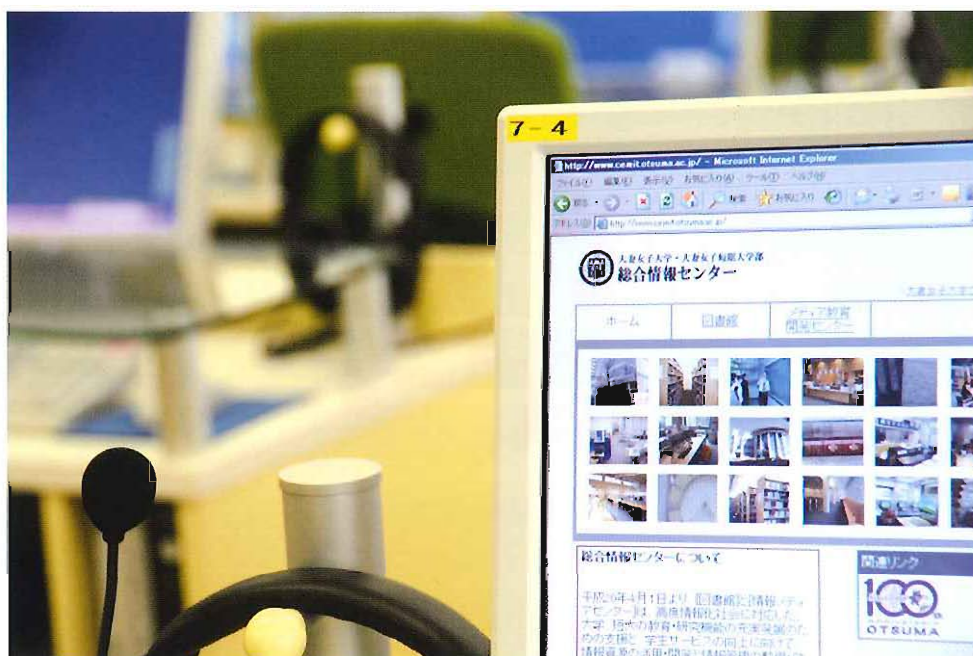
(単位：円)

項 目	内示額（*）	
1. 情報通信設備を活用した教育研究		
①情報通信設備の基盤整備及び維持	128,411,000	大学：112,292,000 短大：16,119,000
a) 電子計算機状況		
b) マルチメディア化及びネットワーク化		
②教育研究情報電子化	3,891,000	
2. 大学独自のデータベースを活用した教育研究	268,000	
合 計	132,570,000	

* 日本私立学校振興・共済事業団の内示による

3. 総合情報センターホームページ維持・管理

総合情報センターURL 〈<http://www.cemit.otsuma.ac.jp/>〉を参照のこと。



4. 総合情報センター年報 第2号 (2009年度) 発行

5. 大妻女子大学研究者データベース (教員情報WEBサイト) の構築・公開

2010年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

■ 図書館グループ

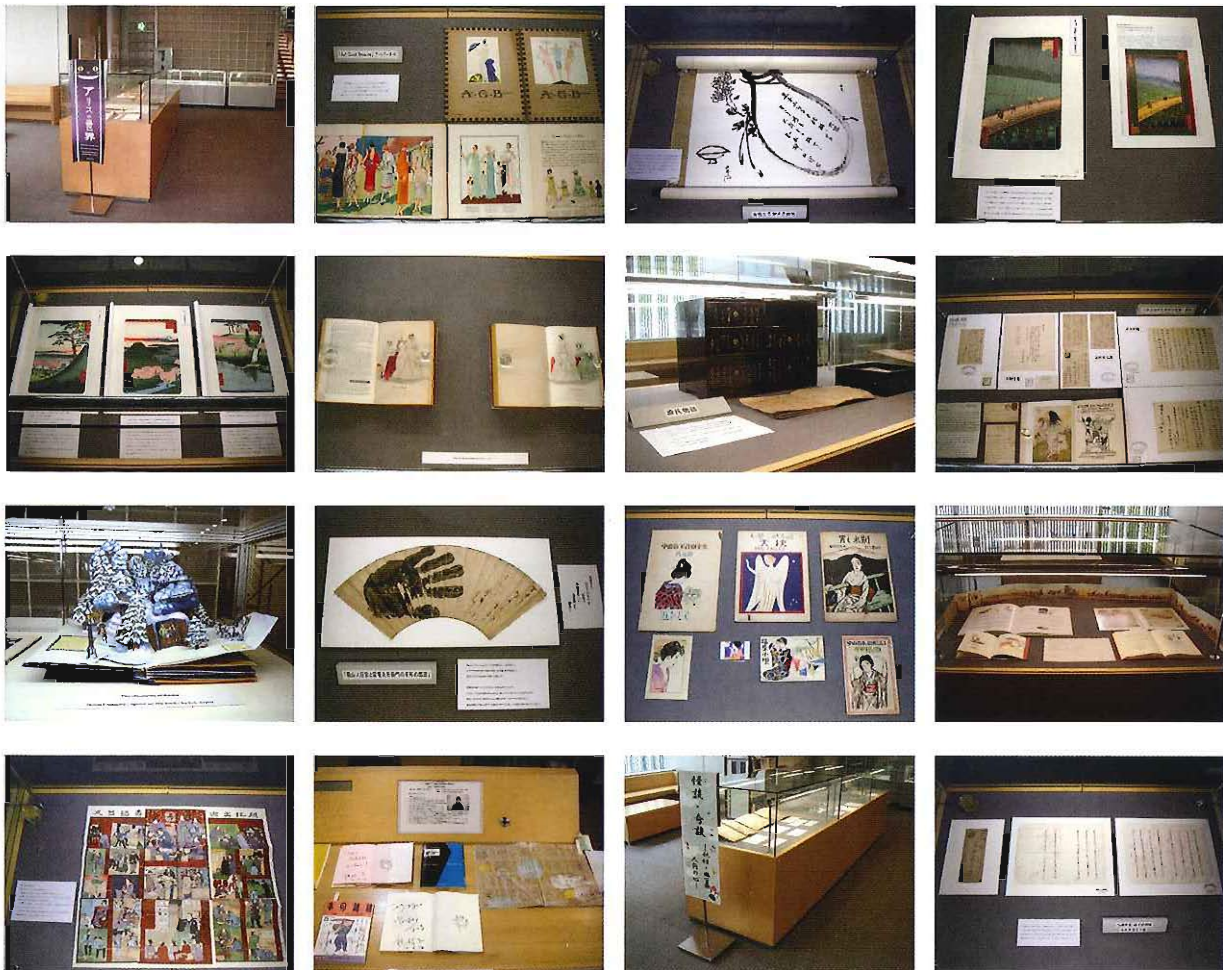
業務記録 (2010/4/1～2011/3/31)

日付	業 務	キャンパス
4/1	ラーニング コモンズ開始	千代田
4/2	統合検索利用開始	全館
4/19～4/30	図書館見学ツアー、MyOPAC説明会	全館
4/27	第1回文系図書委員会(陪席)	千代田
5/10～5/28	データベース検索入門講座	千代田・多摩
6/5	第1回総合情報センター運営委員会	千代田
6/20	オープン・キャンパス	千代田・多摩
7/1	第1回家政系図書委員会(陪席)	千代田
7/14～9/17	夏休み貸出	全館
7/18	オープン・キャンパス	千代田
7/25	オープン・キャンパス	多摩
8/2～8/6	「聖徳太子伝」「徒然草」「曾我物語」デジタル化	千代田
8/8	オープン・キャンパス	千代田
8/15	オープン・キャンパス	多摩
8/18～8/26	B1FのPCリプレイス	千代田
9/12	オープン・キャンパス	多摩
9/27～11/27	大妻女子大学国文学会・千代田区立図書館連携事業「森鷗外とその弟妹たち—ある一族の筆跡」展へ資料貸出	千代田
10/3	オープン・キャンパス	千代田
10/7	東京MXテレビ「TOKYO MX NEWS」の特集ニュースにて図書館所蔵資料が紹介される	千代田
10/8	フラデックラーローバ大学学長・副学長来館	千代田
10/16	日本文学科・国文科主催「貴重書・新収図書資料展」へ資料貸出	千代田
11/3～12/19	サントリー美術館「歌麿・写楽の仕掛け人—その名は萬屋重三郎—」展へ資料貸出	千代田
11/8～12/7	国民読書年特別企画「1人10冊まで貸出!じゃあ、読もう。」キャンペーン	全館
12/8～1/14	冬休み貸出	全館
3/1～4/15	春休み貸出	全館
3/12～3/31	東日本大震災による書籍落下のため休館	全館



千代田校展示記録 (2010/4/1～2011/3/11)

目付	展示テーマ
4/1～4/15	広重名所江戸百景一桜づくし
4/16～5/29	アリスの世界
6/1～6/18	Costume de mariée
6/20	オープンキャンパス貴重書展示
6/21～7/10	マザーグースの世界
7/12～7/24	怪談奇談一妖怪・幽霊・人間の心
7/18	オープンキャンパス貴重書展示
7/26～8/19	夏の情景一江戸百景と狂歌絵本
8/8	オープンキャンパス貴重書展示
8/20～9/30	一千一秒物語一稲垣足穂生誕110年
10/3	オープンキャンパス貴重書展示
10/4～11/20	森一族一鷗外の血脈
10/23	オープンキャンパス貴重書展示
11/24～12/25	大正ロマン・昭和モダン一夢二と淳一
12/17～12/25	〈ミニ展示〉クリスマスの絵本
1/11～1/22	正月遊び一すごろく
1/31～2/21	雪
3/1～3/11	Rabbit (あなうさぎ)・Hare (野うさぎ)・Bunny (うさちゃん)



ラーニング コモンズの設置について

ラーニング コモンズ運営委員会

千代田校図書館では2010年4月、4階グループ閲覧室を「ラーニング コモンズ」として利用者に開放した。「コモンズ」とは「共有の場」であり、「ラーニング コモンズ」は学生がともに学びあう場を意味する。

ラーニング コモンズが館内の閲覧席と異なる点として二つ挙げられる。その一つは、会話と持ち込みパソコンでの作業が許可されていることである。従来図書館では利用者に静寂な学習環境を提供するため私語を禁止している。またパソコンの利用もキータッチ音が発生するため利用場所を制限されている。これに対しラーニング コモンズは、館内でグループ学習をしたいという要望に応じて設置された。学生は図書館の資料を活用しつつ活発に話し合ったり、その場でレポート原稿を作成したりできる。

もう一つの異なる点は飲食ができることである。大学図書館には調べ物や試験勉強などで長時間滞在する学生も多い。館内に飲食スペースを設けることで食事のために校舎と図書館を往復するという負担の軽減を図った。

また学生と教職員との交流を目的としたイベントを年7回行った。本学の教員や卒業生に講師を依頼し、栄養学からアナウンサーの話す日本語など多岐にわたる講演を開催した。イベントには千代田キャンパスの学生だけでなく、卒業生や旧教員、多摩校の学生・教員など幅広い利用者層の参加があった。

ラーニング コモンズを目当てに、今まで図書館に足を運ばなかった学生が来るようになり、図書館が「一人で静かに本を読み借りる場」だけでなく、「学習とコミュニケーションの場」となるよう、今後もサービスの充実を図りたい。

2010年度 ラーニング コモンズ・イベント

	日 時	タ イ ト ル	講 師
第1回	4月24日(土)	紙芝居に触れてみよう	短期大学部国文科 榎本 千賀 教授
第2回	5月29日(土)	江戸の音を味わう — 虚無僧尺八ダイジェスト —	文学部英文学科 村上 丘 教授
第3回	6月26日(土)	Hushaby 〈クラシックギターの響きとマザーグースの唄〉	文学部英文学科 河野 武 教授
第4回	7月24日(土)	夏の読書游泳 — 幽霊譚・涼しくなる怖いお話 —	本学名誉教授 川上 富吉 氏
第5回	9月18日(土)	フィットケミカル — 最新エイヨ〜事情 —	家政学部食物学科卒業生 長野 美根 氏
第6回	10月30日(土)	『歌会始』に招かれて — 付 フルート演奏 —	文学部日本文学科 柏木 由夫 教授
第7回	11月12日(金)	アナウンサーの話す日本語 — あなたもチャレンジ! 早口言葉 —	本学講師 山崎 正 氏

第1回
紙芝居に触れてみよう
榎本 千賀 教授



第2回
江戸の音を味わう
—虚無僧尺八ダイジェスト—
村上 丘 教授

第3回
Hushaby
—クラシックギターの響きと
マザーグースの唄—
河野 武 教授



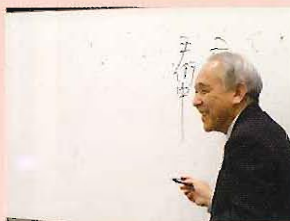
第4回
夏の読書游泳
—幽霊譚・涼しくなる
怖いお話—
名誉教授 川上 富吉 氏

第5回
フィットケミカル
—最新エイヨ〜事情—
医学博士 長野 美根 氏



第6回
『歌会始』に招かれて
—付 フルート演奏—
柏木 由夫 教授

第7回
アナウンサーの話す日本語
—あなたもチャレンジ!
早口言葉—
本学講師 山崎 正 氏



東日本大震災 被害・対応報告

2011年3月11日に起きた、東日本大震災は図書館にも大きな被害をもたらした。以下はその報告である。

〈千代田校〉

地震当時利用者：教員1名・学生14名

被害：開架書庫の図書約30%が落下 4階書架損傷（西側書架は転倒） 建物内部に亀裂

対応：地震直後に利用者を1階に避難誘導し氏名を確認、待機。その後学院の指示により学生を体育館に誘導。職員は被害状況を確認後、消灯・施錠し体育館へ避難。その後学院の指示により講堂へ避難。

〈狭山台校〉

地震当時利用者：なし

被害：開架書庫の図書約10%が落下 建物に亀裂

対応：地震直後に避難経路を確保し建物外へ避難。揺れが治まってから館内の電気製品の電源を切り被害状況を確認し、待機。学院の指示により、消灯・施錠して退館。

〈多摩校〉

地震当時利用者：教員1名・学生1名

被害：開架書庫の図書約70%が落下 4階書架損傷 建物内部に亀裂

対応：地震直後利用者は閲覧室内で避難し、その後館外へ自主避難。図書館は被害が甚大であったため臨時閉館する。職員は学院の指示により施錠して建物外へ避難。一旦図書館に戻るが、学院の指示で食堂に集合し出校者の安否確認。その後図書館に戻り、被害状況の確認と復帰作業に着手。

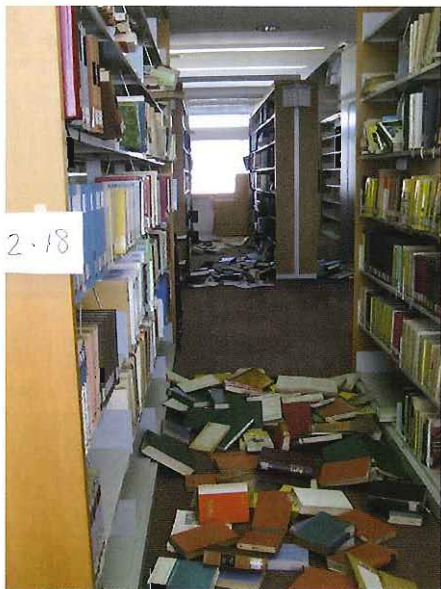
後日各館とも復旧作業を行い、年度内に現状を回復したが壊れた書架の修理などは翌年度に持ち越すことになった。

今回の地震は春休み中であったため利用者が少なく、人的被害が無かったことが何よりであった。復旧にあたって図書を書架の背板に密着させて配架し、きつめにブックエンドを設置するなど蔵書の利用・保守においては利便性を欠くが安全を重視した作業を行った。

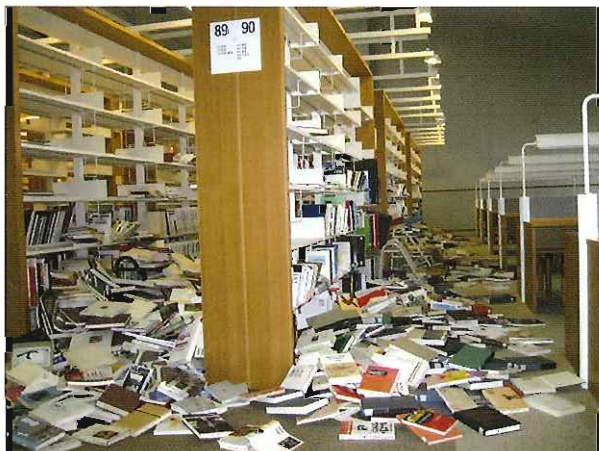
千代田校



狭山台校



多摩校



2010年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

図書館統計

1. 図書所蔵数

2011.3.31現在 (単位:冊)

	千代田	狭山台	多摩	合計
和書	145,627	86,704	96,712	329,043
洋書	38,426	19,963	25,543	83,932
合計	184,053	106,667	122,255	412,975

※雑誌製本を除く



2010年度末、図書資料の各図書館と全体の蔵書数を表す。

2. 配置別図書受入数

(単位:冊)

	和書	洋書	雑誌製本		消耗		千鳥会	合計	
			和	洋	和	洋			
千代田	2,591	385	378	256	446	12	458	4,526	(78)
狭山台	471	6	57	3	208	0	117	862	(7)
多摩	2,713	201	417	67	537	2	376	4,313	(34)
合計	5,775	592	852	326	1,191	14	951	8,798	(119)

※ () 内は寄贈図書

3館別の受入冊数。和書は千代田校、多摩校で2009年度より受入数が増えた。2010年度は例年より江戸期以前刊行の和装本の購入が少なかった。洋書は過去の統計において購入比率が少ないと分析しているが2010年度はさらに受入数が減少した。

3. 分類別図書受入数

(単位:冊)

	和書				洋書				合計
	千代田	狭山台	多摩	計	千代田	狭山台	多摩	計	
総記	188	9	197	394	3	2	9	14	408
哲学・心理学	171	32	199	402	6	0	22	28	430
歴史・地理	332	42	309	683	11	3	43	57	740
社会科学	724	176	1,118	2,018	93	1	40	134	2,152
自然科学	312	121	290	723	21	0	12	33	756
工学	122	56	169	347	20	0	2	22	369
産業	57	19	108	184	7	0	6	13	197
芸術・体育	258	24	180	462	14	0	17	30	492
言語	164	32	126	322	62	0	25	87	409
文学	700	184	414	1,298	150	0	25	176	1,474
その他	467	101	516	1,084	10	0	2	12	1,096
合計	3,495	796	3,626	7,917	397	6	203	606	8,523

2010年度の新収図書を日本十進分類法 (NDC) によって分類したものである。分野別に見ると、工学・言語・文学分野の図書の購入が2009年度より減っている。ただし、言語・文学分野は2008年度より購入が増えたので、適正に図書の選定が行われたものとする。

4. 図書受入数の推移

(単位：冊)

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
和書	千代田	3,700	3,892	3,913	2,598	3,495
	狭山台	889	1,516	987	823	796
	多摩	2,939	4,473	4,714	3,105	3,626
	計	7,528	9,881	9,614	6,526	7,917
洋書	千代田	758	630	454	421	397
	狭山台	32	50	15	7	6
	多摩	579	234	621	206	203
	計	1,369	914	1,090	634	606
合計		8,897	10,795	10,704	7,160	8,523

※雑誌製本を除く

多摩校の和書受入数が4年連続して千代田校より多くなっている。これは千代田校で高額資料を購入したため資料一点あたりの単価が上がり受入数が減ったためと考えられる。

5. 視聴覚資料所蔵数

2011.3.31現在 (単位：点)

	視聴覚資料
千代田	1,974
狭山台	871
多摩	4,069
合計	6,914



6. 視聴覚資料受入数

(単位：点)

	CD	ビデオテープ	DVD	合計
千代田	15	26	186	227
狭山台	7	0	1	8
多摩	23	0	90	113
合計	45	26	277	348

7. その他資料受入数

(単位：点)

	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	CD-ROM	DVD-ROM	合計
千代田	0	1	9	7	17
狭山台	0	0	2	1	3
多摩	0	0	14	1	15
合計	0	1	25	9	35

千代田校では例年に比べ学科予算での購入が若干増えた。DVDの受入数が多いのは、共通費に余裕があり、以前から学生希望の多かった資料を中心に収集したためである。

多摩校ではDVDの受入数が、例年と比較して半減した。これは、共通費でのDVD購入を控え、その分学生用図書の購入に充てたためである。

2010年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉業務報告

8. 所蔵逐次刊行物タイトル数

2011.3.31現在 (単位:種)

	千代田	狭山台	多摩	タイトル合計
和雑誌	3,227	1,126	1,334	4,795
洋雑誌	713	792	444	1,479
合計	3,940	1,918	1,778	6,274

※タイトル合計は重複を除く



9. 継続購入逐次刊行物分類別タイトル数

2011.3.31現在 (単位:種)

	和雑誌				洋雑誌				タイトル合計
	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	千代田	狭山台	多摩	タイトル数	
総記	78	28	62	105	33	4	20	43	148
哲学・心理学	6	2	14	17	11	1	16	25	42
歴史・地理	11	2	16	24	9	0	14	22	46
社会科学	113	25	97	186	46	0	50	86	272
自然科学	42	3	24	56	40	0	14	51	107
工学	55	15	29	83	33	1	8	40	123
産業	6	4	9	16	6	0	1	7	23
芸術・体育	41	6	18	49	6	0	5	11	60
言語	17	6	12	21	62	0	5	63	84
文学	141	17	26	145	55	0	7	61	206
合計	510	108	307	702	301	6	140	409	1,111

※タイトル数およびタイトル合計は重複を除く

10. 契約電子ジャーナル・データベース

契約電子ジャーナル
Science Direct JSTOR EBSCOhost/Academic Search Elite

契約データベース	
新聞記事等	聞蔵IIビジュアル 毎日Newsバック ヨミダス歴史館 日経テレコン21 Library PressDisplay JJI-Web
雑誌論文等	大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索Web版 日経BP記事検索サービス JapanKnowledge+NR メディカルオンライン 第一法規法情報総合データベース Literature Online MLA International Bibliography Literature Resource Center ProQuest Dissertations & Theses(人文社会系) Marquis Who's Who on the Web Books in Print with Book Reviews CSA Linguistics and Language Behavior Abstracts ※2011/1～ Women and Social Movements in the United States 1600-2000



2010年度新規に、日経各紙を学内のパソコンから自由に閲覧できる「日経テレコン21」を契約した。

千代田校では新聞データベースが国内・海外ともに、学生にも比較的良く利用されているようである。

多摩校でも新聞データベースは学生によく利用されている。それは新聞検索の課題が出されているためと考えられる。

11. 図書費決算報告

2011.3.31現在 (単位:種)

		予算額	執行額	残 額
家政系	被服学科	3,302,000	2,687,052	614,948
	食物学科	3,302,000	3,197,301	104,699
	児童学科	3,302,000	3,161,923	140,077
	ライフデザイン	3,302,000	2,663,928	638,072
	短大・家政科	300,000	299,485	515
文系	日本文学系	17,207,000	17,160,206	46,794
	英文系	17,130,000	16,146,618	983,382
	コミュニケーション	7,464,000	7,430,567	33,433
文系・家政系共通		8,988,000	8,985,635	2,365
多摩	社会情報学部	6,813,000	6,473,500	339,500
	人間関係学科	3,443,000	2,997,975	445,025
	人間福祉学科	2,178,000	1,761,677	416,323
	比較文化学部	14,774,000	14,771,329	2,671
	共通	5,992,000	5,989,698	2,302
附置研		1,000,000	925,802	74,198
図書館		10,345,000	10,339,578	5,422
合計		108,842,000	104,992,274	3,849,726

※生活科学資料館：81,320円は図書館に含む

※特別加算（補助金データベース収入）：2,874,000円は図書館に含む

12. 高額資料一覧

(単位:円)

形態	書名	数量	金額(税込)	配置
和書	近代詩誌コレクション	一式	5,150,000	千代田
データベース	Literature Resource Center	1アクセス	1,053,383	
データベース	日経テレコン21	フリー	1,018,500	
データベース	聞蔵IIビジュアル	2アクセス	876,960	
データベース	Academic Search Elite	フリー	848,400	
データベース	Books in Print with Book Reviews	4アクセス	831,492	千代田
データベース	Literature Online-theComplete Collection	フリー	724,500	
洋書	Japanese Fairy Tale Series	一式	682,500	千代田
データベース	Japan Knowledge プラスNRK	2アクセス	655,200	
データベース	日経BP記事検索サービス大学版	フリー	630,000	
データベース	MLA International Bibliography	1アクセス	520,600	
データベース	ProQuest Dissertations & Theses	フリー	461,265	千代田
データベース	JJJI Web	2アクセス	453,600	
和書	狂歌画讃集	一式	420,000	千代田
データベース	雑誌記事索引集成DB	1アクセス	378,000	
データベース	インターネット版 現行法規	1アクセス	315,000	
合計			15,019,400	

(¥.300,000以上)

30万円以上で購入した資料を掲載した。

データベース以外の高額資料は全て日本文学科が購入したものである。

洋書“Japanese fairy tale series”(日本昔話シリーズ)は平紙版で、一般に「ちりめん本」と呼ばれる紙をクレープ状に加工する前段階で製本・出版したものである。これは本学図書館で所蔵する“Japanese fairy tale series”の中では珍しい。

2010年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

13. 開館日数

(単位：日)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
千代田	281	287	289	280	277
狭山台	263	269	273	262	257
多摩	280	287	290	280	276

14. 入館者数

(単位：人)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
千代田	50,728	56,106	57,297	59,656
狭山台	18,522	22,638	18,069	21,152
多摩	51,532	51,986	49,496	53,625

2010年度は例年より10日以上開館日が少なかった。これは3月11日に発生した東日本大震災により書籍が落下し、その復旧作業のため休館したからである。ただし、休館期間が春期休業中だったことから利用者への影響が少なく入館者数は全館で2009年度より増加した。

15. 学部別館外貸出人数

(単位：人)

家政学部	文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	大学院 (千代田・多摩)	短期大学部
4,576	6,504	1,727	2,904	3,005	278	2,062

16. 貸出冊数推移

	年度	冊数	人数
千代田	2006年度	14,297	7,972
	2007年度	15,433	8,680
	2008年度	16,798	9,197
	2009年度	17,222	9,602
	2010年度	18,337	10,252
狭山台	2006年度	3,802	2,068
	2007年度	3,481	2,076
	2008年度	5,285	3,035
	2009年度	4,682	2,710
	2010年度	7,604	4,286
多摩	2006年度	13,909	7,347
	2007年度	14,798	7,675
	2008年度	14,836	7,630
	2009年度	13,951	7,346
	2010年度	16,020	8,470



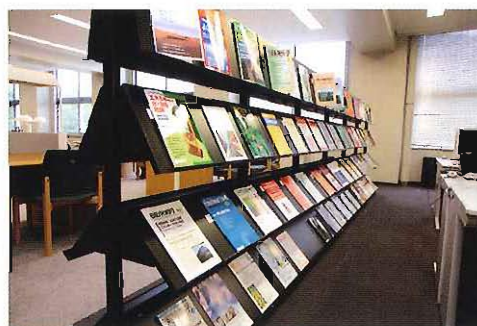
2010年度は国民読書年特別企画として「1人10冊まで貸出！じゃあ、読もう。」というキャンペーンを行い、その結果全館で貸出冊数・人数が増加した。

また狭山台校では別途、各クラス担任に利用統計と図書館利用を呼びかける文書を配布。クラス担任の協力により貸出冊数・人数が大幅に増加した。

17. 逐次刊行物利用統計

	所 属	冊 数	人 数	
千代田	家政学部	被 服	32	11
		食 物	120	36
		児 童	199	39
		ライフデザイン	27	17
	文学部	日 文	1,750	634
		英 文	68	32
		コ ミ 文	256	45
	短 大	家 政	18	11
		国 文	166	112
		英 文	13	3
		多 摩	65	19
	大 学 院	399	54	
	教 職 員	491	152	
	そ の 他	150	55	
	小 計	3,754	1,220	
多摩	社会情報学部	105	77	
	人間関係学部	367	225	
	比較文化学部	108	87	
	千代田	13	1	
	大学院	8	6	
	教職員	133	66	
	その他	3	2	
	小 計	737	464	
合 計		4,491	1,684	

※バックナンバーのみ
 ※狭山台校は開架のため統計実施せず
 ※その他には中高・非常勤含む



千代田校では2009年度と比較して、日本文学科の学生の利用が大幅に増加した。授業で、雑誌論文を利用する課題が出されたことが影響している。

多摩校では2009年度と比較して教職員の利用は増加したが、学生の利用が減少した。特に社会情報学部の減少が著しい。

18. 視聴覚資料利用点数

(単位：点)

	ビデオテープ	CD	DVD	LD	音声テープ	合 計
千代田	43	31	293	0	0	367
狭山台	14	12	155	7	0	188
多 摩	100	28	924	0	0	1,052

※所蔵・持込合計

多摩校ではDVDが大変よく利用されているが2010年度は特に多く、例年と比較して倍増した。これは、映画を見てレポートを書く課題などが増えたためと考えられる。

2010年度 総合情報センター 〈図書館グループ〉 業務報告

19. 学外相互協力

(単位：件)

		2008年度			2009年度			2010年度		
		紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借
千代田	依頼	40	75	4	18	86	3	26	101	1
	受付	34	75	0	22	62	0	21	63	0
狭山台	依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受付	0	0	0	0	1	0	0	0	0
多摩	依頼	14	213	13	13	90	9	14	129	3
	受付	1	16	0	2	6	0	1	13	0
合計	依頼	54	288	17	31	176	12	40	230	4
	受付	35	91	0	24	69	0	22	76	0

※謝絶を含む

2006年度から学外機関への協力依頼・学外機関からの依頼受付がともに漸減していた。

依頼と受付に同じ傾向があることから、減少の理由は一般に学術情報基盤が整いオンラインで入手できる論文・資料数が増加したためと考えられる。

しかし2010年度はこれまでと傾向が変わり、学外機関への協力依頼数が増えている。2009年度から2010年度にかけて契約を中止した電子ジャーナルやデータベースはないため、研究・学習に利用する論文数が増えているものとする。



■ メディア教育開発グループ

1. 授業支援

メディア教育開発グループでは、3キャンパスの語学関係教室（CALL・LL）、視聴覚教室、情報処理実習室、情報処理自習室や授業用情報システムの維持・管理・運用を担当し、それらの施設・設備を利用して行われる授業や学生の自発的学習が効率的、効果的に行われるよう以下の支援を行った。

また、学内システムのうち、教育用情報システムについてはメディア教育開発グループが担当しており、そのために必要なネットワークの維持・管理・運用を行った。視聴覚機器やパソコン、ネットワークなどに関する教員・学生からの問い合わせ（学生指導含む）については、ヘルプデスク業務として対応した。

1) 情報処理・語学関係実習室における授業への支援

[支援内容]

《千代田校・多摩校・狭山台校共通》

- ・統合認証システム（ADサーバ）維持管理、運用
- ・学内システム利用アカウント（教員等）の発行、管理
- ・ファイルサーバ（学生用・教員用ホームフォルダ、Publicフォルダ設定、管理）
- ・プリンタ履歴システム管理、運用 ・教員貸出用大妻Webメールアドレス管理
- ・学生からの質問、問い合わせへの対応 ・教員及び助手からの質問、問い合わせへの対応

《千代田校、狭山台校情報処理教室、情報処理自習室関係》

- ・授業補佐 ・情報処理関係科目（教養教育）担当授業補助員のリクルート及び労務管理
- ・情報処理教室、情報処理自習室ホームページ（教室利用の手引き）更新

《多摩校情報処理実習室（社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部）関係》

- ・実習室ホームページ更新 ・教師用「実習室利用の手引き」作成
- ・コンピューターシステム運営委員会及びコンピューターシステム更新委員会（社会情報学部）

[教室使用状況]

千代田校		前期	後期
情報処理教室	(4教室)	60時限/週	59時限/週
CALL教室	(1教室)	11時限/週	12時限/週
多摩校		前期	後期
情報処理実習室	(4教室)	69時限/週	57時限/週
情報処理・LL教室	(5教室)	53時限/週	54時限/週
LL教室	(1教室)	14時限/週	11時限/週
狭山台校		前期	後期
情報処理教室	(1教室)	12時限/週	12時限/週
CALL教室	(1教室)	7時限/週	11時限/週

(上記時限以外に不定時の利用による授業支援あり)

2) 視聴覚教室における授業への支援

- ・教員、職員、学生へ視聴覚教室施設・設備に対する取扱説明

3) 普通教室、実験・実習室における授業への支援

- ・視聴覚機器の貸出し・操作説明等

4) スタジオ（含む、メディア制作ルーム）を利用する授業への支援

- ・スタジオ利用授業の機器操作指導・補佐、番組制作のための機器貸出し・操作指導
- ・設置機器の維持管理・保守点検 ・ビデオ編集作業の指導・補佐等

5) 遠隔授業に関する支援

- ・ネットワーク多摩提携講座遠隔授業実施（朝日新聞提携講座、NHK提供講座）
- ・FD講演会（2010.7.20/2010.11.19） 千代田校（155教室） ↔ 多摩校（7114教室）

6) ヘルプデスク

- ・パソコン及びプリンタ等の設定及び不具合対応
- ・ネットワーク関連機器接続の設定及び不具合対応
- ・アプリケーションに関する導入支援、操作説明等
- ・ウイルス対策（ソフトウェア導入支援・操作説明、ウイルス駆除等）
- ・メール全般に関する支援（送受信、転送設定等）
- ・視聴覚教室等でのパソコン接続（出力設定、ネットワーク接続等）に関する操作説明
- ・視聴覚教室等におけるAV機器（操作卓等）の操作説明

7) 情報処理自習室の維持・管理及び学生指導

千代田校	情報処理自習室（本館地下2階）PC席数：60席	
	期 間	2010年4月1日～2011年3月31日 月～土
	時 間	平日 9：00～20：00 土曜 9：00～17：00
	利用者数	延べ49,640名
校	メディア制作ルーム（本館8階）PC席数：12席 AV席数：2席	
	期 間	2010年4月1日～2011年3月31日 月～土
	時 間	9：00～17：00
	利用者数	延べ2,734名
多摩校	情報処理自習室（図書館棟2階） PC座席数：60席	
	期 間	2010年4月1日～2011年3月31日 月～金
	時 間	通常 9：00～16：10
	利用者数	延べ23,415名

※情報処理関係の自習のため、情報処理自習室の他に関係教室を授業で使用していない時間は、自習用として開放している。

※2011年3月11日の東日本大震災以降、3月中は各教室を閉室した。

8) 視聴覚及び情報処理関係施設、設備の維持・管理・運用

- ・情報処理関連教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
 - ・情報処理関連教室施設、設備の維持・管理（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
 - ・視聴覚教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
 - ・視聴覚教室施設、設備の維持・管理（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
- 詳細は巻末資料を参考のこと

9) 授業以外への機器貸出し・操作説明など

- ・学内・学外団体関係（学会・講演会、講習会他）
- ・事務局関係（入学式、オープンキャンパス、各種ガイダンス、入試関係、学園祭等）

2. 補完教育

1) 課外英語力強化プログラム

この講座は学生が正規授業の履修状況にあわせて、毎日1コマ(40分)、週5日(年間100コマ)のスケジュール表を各自で作成し受講するプログラムで、毎回の講座の他に自由に会話ができるEC(English Challenge)の時間も用意されている。講座内容は、インタラクティブな活動を中心としたグループレッスン(12名前後)で構成されている。

2010年度の担当講師は、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドの出身者で、英語を母語としない人への英語教授資格(TESOL, TEFL, CELTA等)の有資格者である。そのほか年2回(前期1回、後期1回)TOEIC IPテストを実施している。

2010年度の講座実績は以下のとおりである。

◆2010年度受講者数

千代田	95人(26人)
多摩	134人(23人)
狭山台	79人
合計	308人(49人)

* ()内は継続者数

TOEIC IPテスト実施については各自の英語力を確認することを目的としている。目的達成のためなるべく多くの学生に受験してもらい、その後のレッスンに役立ててもらえるように、講座開始と共に日程を決め募集をしている。また、通常の講座とは別に、ECの時間を使って試験の傾向と対策講座などを実施している。

◆2010年度TOEIC IPテストについて

	前期				後期			
	受験者数	平均点	500点以上の学生数	最高点	受験者数	平均点	500点以上の学生数	最高点
千代田	24人	478点	9人	750点	10人	455点	4人	575点
多摩	40人	368点	2人	565点	22人	380点	2人	580点
狭山台	10人	388点	1人	515点	9人	455点	2人	545点
合計	74人		12人		41人		8人	

2) 課外パソコン講習

2010年度は、Word、Excel、PowerPoint、Access等のビジネスアプリケーション講座の他、Photoshop基礎講座、コミュニケーション能力養成講座、医療事務コンピューター講座といった多様な講座を実施した。また、2009年度より開始したパソコン検定(P検)講座が好評であったことを受け、準2級、3級、4級に加えて新たに2級講座を開始した。

通常、講座は前期・後期とも平日の5時限以降か土曜日に実施しているが、これとは別に夏季、春季休業期間を利用した集中講座も実施した。なお、各講座の最終回には実技試験と知識試験を実施し、合格者には認定団体より認定書を発行している。

2010年度の講座受講者及び受験状況は下記の通りである。

◆2010年度受講者数(延べ数)

千代田	369人
多摩	200人
狭山台	69人
合計	638人(520人)

* ()内は資格取得者数



2010年度 総合情報センター 〈メディア教育開発グループ〉 業務報告

3. 教材制作

教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化を行っており、具体的には、ビデオ収録・編集、PC再生用のオーディオ・ビデオデータの制作、紙原稿・スライド等のデジタルデータ化・データ変換などを行った。印刷関係ではカラーコピー・拡大印刷などを中心に作成を行った。

以下は、2010年度各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数である。

教材制作依頼部署	内 容	年間制作数
千代田校 (8F)	音声関係	8本
	映像関係	742本
	PC関係 (紙原稿・スライド等のデジタルデータ) 化	1,593点
	印刷関係 (うち拡大印刷)	3,086枚 474枚
千代田校 (3F)	音声関係	15本
	映像関係	94本
多 摩 校	音声関係	15本
	映像関係	186本
	印刷関係 (うち拡大印刷)	260枚 260枚
狭山台校	音声関係	0本
	映像関係	12本

4. その他の業務

- 1) 入学試験関係
 - ・ 入学試験Listening問題録音・編集、試験会場音響確認、問題再生、その他
 - ・ 大学入試センター試験
- 2) 私立大学情報教育協会 (私情協) 関係
 - ・ 各種研修会案内の学内配布及び参加申込受付、総会他上記団体主催による会合出席
- 3) 各種調査への対応
 - ・ 2010年度ICT 活用教育の推進に関する調査 (文科省)
 - ・ 2010年度私立大学情報化投資額調査 (私情協)
 - ・ 2010年度私立大学教員の授業改善調査 (私情協)
 - ・ 2010年度私立大学高度情報化補助金活用調査 (私情協)
- 4) 各種研修会などへの参加
 - ・ 外国語教育メディア学会 (LET) 他
- 5) 学内行事、他
 - ・ 2011年度事業計画予算申請
 - ・ 2010年度入学式関係 (舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など)
 - ・ 2010年度学園祭関係 (打合せ、事前点検、機器貸出し、操作説明、事後点検など)
 - ・ 定期試験関係 (試験監督)
 - ・ オープンキャンパスサポート (千代田)

2010年度 総合情報センター決算報告

2010年度総合情報センター決算報告

総合情報センターは、2010年度経常予算として20,320,000円を申請し承認された。内、図書館グループは5,900,000円、メディア教育開発グループは3キャンパス4部署で14,420,000円の配分とした。

主な執行内訳は、図書館グループでは、機器・備品として展示架、学生用プリンター、木製書架、ブックエンド等を購入し、その他、雑誌の保管・保存のためのバックナンバー製本、「図書館利用のしおり」の印刷等であった。

メディア教育開発グループは機器・備品として教材制作及び記録用としてデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、ビデオ編集用パソコン等の購入、老朽化したマークカードリーダーのリニューアルで業務に支障がないよう対応した。また、授業貸出用機器としてノートパソコンやビデオプロジェクター、資料提示用としてビジュアルライザー、液晶モニター等を購入した。

2010年度の決算の執行状況は下記の通りである。

(単位：円)

	図書館	メディア教育開発グループ				決算	予算
		千代田校 (8F)	千代田校 (8F)	多摩校	狭山台校		
機器・備品費	597,975	1,757,910	2,152,218	918,055	1,589,700	7,015,858	6,300,000
消耗品費	1,485,866	1,435,152	1,568,100	1,648,749	1,100,487	7,238,354	7,660,000
修繕費	255,768	59,430	56,910	16,080	9,450	397,638	1,230,000
雑費	318,887	225,954	49,474	40,825	13,216	648,356	1,600,000
ソフト費	0	555,975	324,975	242,126	152,670	1,275,746	1,270,000
通信費	749,580	30,405	30,458	29,170	29,169	868,782	1,000,000
印刷・製本費	1,662,302	273,700	73,237	70,000	70,000	2,149,239	1,950,000
賃貸借費	0	0	0	195,804	0	195,804	200,000
予算戻り分	0	▲ 763,587	0	0	0	▲ 763,587	▲ 890,000
合計	5,070,378	3,574,939	4,255,372	3,160,809	2,964,692	19,026,190	20,320,000
		13,955,812					

事業計画予算申請について

事業計画予算申請について

1. 2010年度 事業計画予算及び採択結果について

2010年度事業計画予算として申請した事業のうち、図書館グループは、「メディアルーム学生用PC及びサーバのリプレイス」、「メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス」の2件が承認された。「メディアルーム学生用PC及びサーバのリプレイス」については老朽化したPCとサーバの更新を行った。さらに、PC利用の需要が多いためほとんど使用されていないカセットテープ利用ブースをPCブースに転換し、5台のPCを増設した。

「メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス」については、「図書館所蔵貴重書のデジタル化」を早急に行う必要があるため、「メディアルーム学生用TVモニターリプレイス」計画の予算付け替えとして稟議を諮った。これらの予算で、図書館所蔵の貴重書「聖徳太子伝」「徒然草」「曾我物語」のデジタル化を実施した。またその資料を元に、大妻女子大学国文学会が編集し、「大妻文庫1 徒然草」が刊行されることになった。

メディア教育開発グループは、3件承認された。「多摩校図書館棟情報処理自習室パソコン更新」については、当初更新を予定していたが、キャンパス内におけるOSバージョン統一の観点から再リースを行った。

「千代田校本館8階メディア制作コーナーPC更新」は、情報処理関連授業の自習や動画編集用として使用しているPCで、導入後5～8年を経過し、老朽化による支障が懸念されるため更新を行った。更新後、どのような利用形態になっても現状を維持しつつ、新たな利用形態にも対応できるように、ノート型パソコン12台を設置した。

「教育系統合認証システムの仕様変更」は、システム管理室起案の全学統合認証システム更新に伴い、教育系認証システムの仕様変更を行った。その結果情報処理教室アカウントが学内システム利用アカウントに統合された。

2010年度事業計画予算申請の採択結果は下記の通りである。

◆要望に基づく執行承認内容・計画金額等

(単位：円)

	件名	予算額	備考
K-1	多摩校 図書館棟情報処理自習室パソコン更新(再リース)	621,000	
K-2	千代田校 図書館メディアルーム学生用PC及びサーバのリプレイス	6,804,000	
K-3	図書館書蔵 貴重書のデジタル化 (図書館メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス)	810,000	稟議により 予算付け替え
K-4	千代田校 本館8階メディア制作コーナーPCの更新	3,045,000	
K-5	教育系統合認証システム仕様変更	24,100,000	
	合計	35,380,000	



「経常費」扱いの増減では、千代田校情報処理教室（232,235）及び自習室（本012）の保守料が経常費扱いとなった。多摩校社会情報学部棟情報処理実習室のサーバ保守料は無償保証期間終了に伴い増額となった。また、昨年8月まで使用していた図書館システムCALISの業務サーバリプレースリース料、千代田校情報処理教室（271）及び多摩校情報処理自習室（4264）のリース料がそれぞれリース満了となるため減額された。

また、「図書館メディアルーム学生用TVモニターのリプレース」と「千代田校A棟視聴覚教室（254,257教室）視聴覚設備更新」は承認されなかった。

◆「経常費」(扱い)の増・減

(単位：円)

件 名	2010年度支出額	備 考
千代田校 情報処理教室（232・235）・自習室（本012）保守	4,657,000	2010年度から経常費化
千代田校 情報処理教室（271）システムリース料	△7,208,250	リース満了に伴う 減額
多摩校 図書館棟情報処理自習室（4264室） PC・ハード・ソフトその他リース料	△8,284,500	リース満了に伴う 減額
図書館 CALIS業務サーバリプレースリース料	△3,538,500	リース満了に伴う 減額
多摩校 社会情報学部棟情報処理実習室保守費増額	2,877,000	無償期間終了のため増額

◆2010年度予算での執行が承認されなかった項目

(単位：円)

件 名	予算額	備 考
千代田校 図書館メディアルーム学生用TVモニターのリプレース	819,000	稟議により予算の付け替え
千代田校 A棟視聴覚教室（254,257教室）視聴覚設備更新	15,785,700	

2. 2011年度 事業計画予算申請について

2011年度事業計画予算申請として8件(図書館グループ4件、メディア教育開発グループ4件)、その他保守費の申請2件を行った。

1) 図書館グループ

①「図書館ラーニングコモنزの整備」及び「ラーニングコモنزにおけるネットワーク環境の構築について」

学生用スペースとして開放したラーニングコモنزの利用に適した家具のリニューアルやカーテンの設置、また、持ち込みパソコンで自由にインターネットの利用ができるようネットワーク環境の構築を行い、多目的スペースとしての機能性向上を目指している。

②「図書館所蔵 貴重資料のデジタル化」

図書館で所蔵している貴重資料の中から特に劣化の激しい資料－「詞花和歌集（飛鳥井雅教写本）」「捨遣和歌集（1504年奥書の写本）」「源氏物語（栞型本）」－の保存・閲覧・公開のためのデジタル化を行う。また、大妻女子大学国文学会との協力により発行物に収録を予定している。

③「AV・情報メディアルーム学生用TVモニターのリプレース」

AV・情報メディアルームに設置されている学生用TVモニターは約15年が経過している。更新すると経年劣化を原因とする故障の発生を抑えることができる。また、今後ブルーレイディスクの普及と共に再生機器の導入を検討するためにも、TVモニターのリプレースは必要である。

事業計画予算申請について

2) メディア教育開発グループ

①「全学教育系情報システム更新」

現状、学内には老朽化した情報システムが存在し、保守用のパーツの供給停止によりシステム全体の運用に支障をきたすおそれが出てくる。千代田校情報処理関係教室3室の施設・設備更新、学生用のファイルサーバの更新、全学生が使用しているADサーバを更新することで授業などの運用に支障が出ないようにする。2011年度末に前倒しで作業を行うための申請とする。

②「多摩校図書館棟情報処理自習室リプレイス」及び「Microsoft Office 2010アップグレード」

情報処理自習室が設置してから7年が経過しているための更新で、それに合わせMicrosoft Office 2010をスクールアグリーメントでの一括購入することを計画している。それにより若干予算が削減できる。これら2件については、2011年度末に前倒し工事を実施するための申請とする。

③「A棟視聴覚教室2教室視聴覚設備更新工事」

A棟講義室に設置してあるAV機器が7年を経過している。教室に設置してあるビデオプロジェクターの照度についてはクレームもあり、故障の際の部品供給を考え更新を申請する。

その他保守費として、従来システム担当部署が担当していたADサーバ（教育系認証サーバ）の保守を学内の認証システムが再編されることに伴いメディア教育開発グループが行うため、また、2010年度事業計画で更新工事を実施した多摩校人間関係学部棟情報処理・LL教室の保守費を申請する。

2011年度事業計画予算申請一覧は下記の通りである。

(単位：円)

順位	件名		備考
1	全学教育系情報システム更新 ①情報処理関連3教室(C271・370・373)施設・設備更新 ②ファイルサーバ更新 ③ADサーバ更新	194,775,000	2011年度末に前倒し工事实施
2	多摩校 図書館棟情報処理自習室リプレイス	42,410,135	
3	多摩校 Microsoft Office 2010 (PCアプリケーション) アップグレード	11,064,690	
4	千代田校 図書館ラーニング commons の整備	3,780,000	
5	千代田校 図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	2,986,725	
6	千代田校 ラーニング commons におけるネットワーク環境の構築について	4,543,770	
7	千代田校 A棟 視聴覚教室2教室 視聴覚設備更新工事	15,691,200	
8	千代田校 AV・情報メディアルーム学生用TVモニターのリプレイス	692,685	

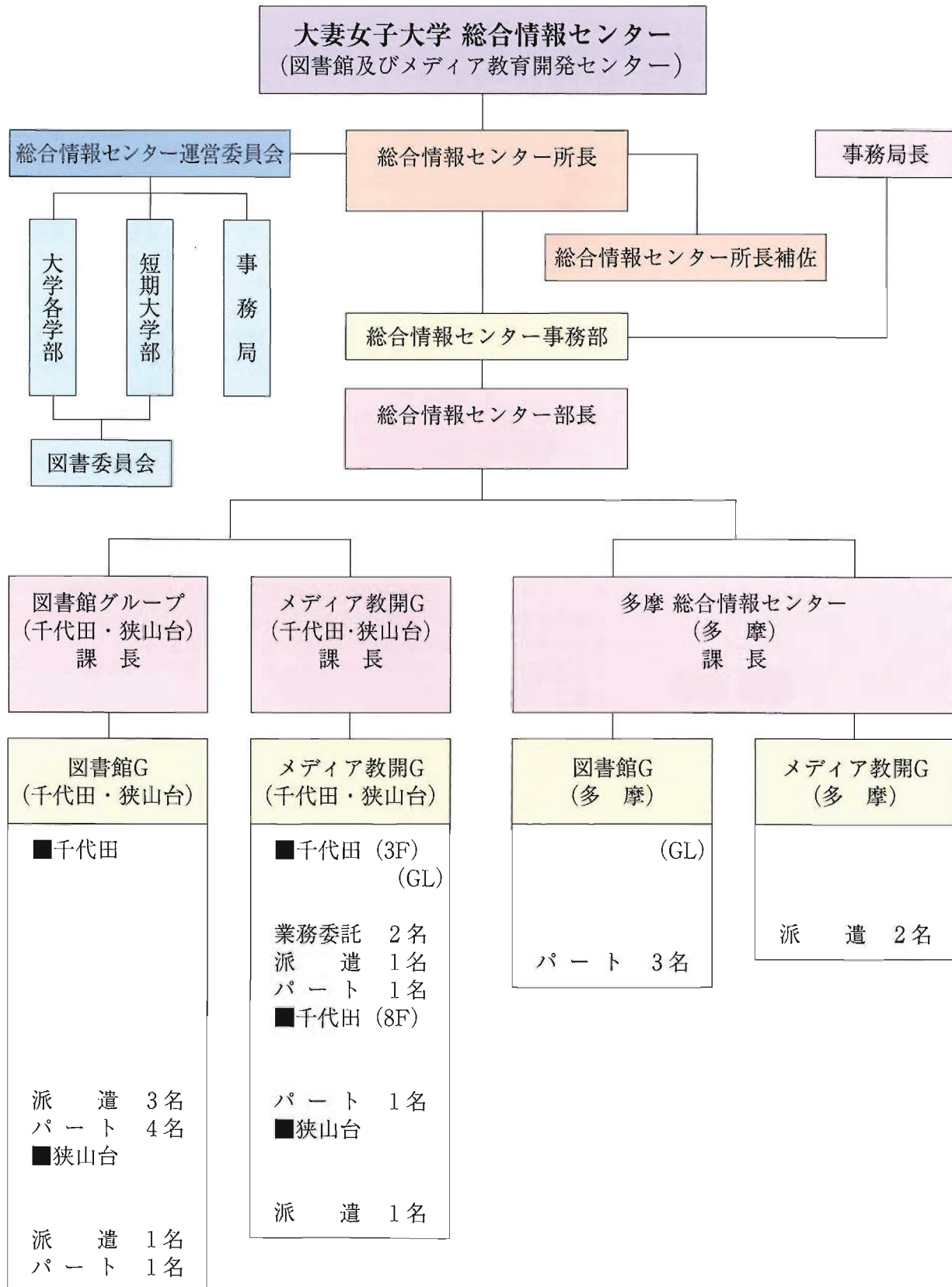
【保守分】

(単位：円)

順位	件名	2011年度支出額	備考
1	千代田・多摩・狹山台3キャンパス設置 ADサーバ(教育系認証サーバ)保守	6,478,500	
2	多摩校 人間関係学部情報処理・LL教室保守	3,425,468	

2010年度 総合情報センターの組織とスタッフ

2010年度 総合情報センターの組織とスタッフ



大妻女子大学 総合情報センター規程

平成20年 5月29日制定
平成22年 7月27日改訂

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学学則（昭和48年4月1日制定）第39条第3項及び大妻女子大学短期大学部学則（昭和49年4月1日制定）第39条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部（以下「大学及び短期大学部」という。）共通の附属施設として、教育・研究に必要な図書、電子情報、その他各種資料（以下「図書資料」という。）を収集、所蔵し、教職員、学生等の利用に供するとともに、情報メディア環境を活用した教育・学習活動等への支援と、そのために必要な開発業務を行うことをもって、本学の教育・研究の充実発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 図書資料の収集、組織化、保管、利用者への提供、及び図書館間の相互利用に関する業務
 - (2) 大学及び短期大学部、並びに学校法人大妻学院（以下「学院」という。）が関与する著作権に関する業務
 - (3) 大学及び短期大学部教員に関する教育・研究用データベースの構築と教育・研究用外部資金確保に関する業務
 - (4) 情報メディア教育システムの企画・開発、維持・管理、安定的な運用及びセキュリティ維持に関する業務
 - (5) ネットワークなどの情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援とそれらに必要な開発業務
 - (6) 教職員に対する情報処理及び情報メディア教育関連の講習に関する業務
 - (7) 学生に対する情報処理及び情報メディア等の補完教育の計画、立案並びにこれらに関する業務
 - (8) 学院の要請による情報処理及び情報メディアに関する業務
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務
- 2 前項の業務を行うため、センターに図書館とメディア教育開発センターの2施設及び総合情報センター事務部（以下「事務部」という。）を置く。事務部に図書館グループとメディア教育開発グループを置く。

(組織)

第4条 センターに次の教職員を置く。

- (1) 所長1名
 - (2) 事務部部長1名
 - (3) 事務部課長若干名
 - (4) 事務部職員
- 2 所長は、本学専任教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 所長は、事務部を統轄し、センターの業務を掌理する。また、所長に事故のあるときは、所長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
- 4 センターに所長補佐を置くことができる。

(運営委員会)

第5条 センターの管理・運営の円滑化、効率化を図るため、センター運営委員会を置く。

- 2 センター運営委員会の規程は、別に定める。

(運営細則への委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、センターの管理・運営について必要な事項は、別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て理事会において定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年5月29日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館規則（昭和60年4月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター規程（平成13年5月25日制定）は、廃止する

附 則

この規程は、平成22年7月27日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程

大妻女子大学総合情報センター運営委員会規程

平成20年6月13日制定

(趣旨)

第1条 この規程は、大妻女子大学総合情報センター規程（平成20年5月29日制定）第5条第2項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 総合情報センター（以下「センター」という。）の運営の方針及び大綱に関する事項
- (2) センター規程及びセンター運営委員会規程等の改廃に関する事項
- (3) センターの運営に関する予算の大綱に関する事項
- (4) 図書資料収集と管理の基本方針に関する事項
- (5) 情報処理及び情報メディア教育に関する施設設備の整備に関する事項
- (6) その他センターの運営に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター所長
- (2) 各学部長
- (3) 各学部及び短期大学部から選出された専任教員各2名
- (4) 事務局長、教育・学生支援センター部長、多摩事務部長及び狹山台校事務長
- (5) センター事務部部長、課長
- (6) その他所長の委嘱する者若干名

2 前項第3号及び第6号の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

- 2 委員長は、センター所長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、センター事務部において処理する。

(補則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定める。

附 則

- 1 この規程は平成20年6月13日から施行し、平成20年4月1日から適用する。
- 2 大妻女子大学図書館運営委員会規程（昭和60年6月1日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター運営委員会規程（平成13年5月25日制定）は、廃止する。
- 3 平成20年度については、従前の図書館運営委員と情報メディアセンター運営委員を、本規程第3条第3号の委員とする。

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
昭和24年 (1949年)	初代館長 清水 福市 (S24.4-S45.9)	4月 大妻女子大学の新制大学移行と同時に発足 旧校舎2階に設置 閉架閲覧方式		大妻女子大学設置 (家政学部被服学科・食物学科・家庭理学科・別科)
昭和32 (1957年)		3月 書庫充満のため書架増設		
昭和42年 (1967年)		4月 狭山台校開学 狭山台校分館発足 校舎3階	文学部英文学科内に音声言語教育のための機器、教材整備・充実のため「LL研究室」設置	狭山台校開設 文学部国文学科・英文学科、短期大学部国文科、英文科設置
昭和43年 (1968年)				大妻女子大学創立60周年記念式典挙行 (日本武道館)
昭和44年 (1969年)				
昭和45年 (1970年)	館長 加藤 菊雄 (S45.9-S49.3)	9月 千代田校本館完成図書館も本館1～2階に移動 開架閲覧方式に移行、学生用複写機稼動	教育・研究への視聴覚的手法導入に対する熱意の高まりにより、全学的組織「視聴覚教育専門委員会」開催	千代田校舎図書館棟新築完成 図書館研究室本館新築
昭和46年 (1971年)	初代所長 天野 一夫 (S46.4-S49.3)		「視聴覚教育センター」設立 設立に伴い「視聴覚教育専門委員会」を「視聴覚教育運営委員会」に改称。各学部で管理していた視聴覚機器を視聴覚教育センターで一元管理する。	
昭和47年 (1972年)			AAC型LL(フルラボ・オープンテープ型ブース)教室設置ーLL授業開始	千代田校記念会館竣工
昭和48年 (1973年)			千代田校に【教材制作部】【サービス部】、狭山台校に【サービス部】を設置 授業にビデオ教材を使用するため貸出用機器の充実	
昭和49年 (1974年)	館長 廣田 榮太郎 (S49.4-S49.5) 館長 黒田 巍 (S49.11-S50.3) 所長 渡辺 修 (S49.4-S59.3)			
昭和50年 (1975年)	館長 吉田 精一 (S50.4-S51.3)		16ミリ発声映写機操作講習会実施	
昭和51年 (1976年)	館長 黒田 巍 (S51.4-S53.3)			
昭和52年 (1977年)				
昭和53年 (1978年)	館長 小幡 弥太郎 (S53.4-S56.3)	狭山台校分館 増築増床		大妻女子大学創立70周年記念式典挙行 (日本武道館)
昭和54年 (1979年)				
昭和55年 (1980年)				
昭和56年 (1981年)	館長 吉田 精一 (S56.4-S59.3)			大妻女子大学人間生活科学研究科設置
昭和57年 (1982年)			千代田校AAC型LL教室をカセット型に改修	
昭和58年 (1983年)		5月 狭山台校分館 保存書庫竣工		狭山台校保存書庫棟竣工
昭和59年 (1984年)	館長 仙波 千代 (S59.4-S63.3) 所長 仙波 千代 (S59.4-S60.3)		狭山台校AAC型LL教室をカセット型に改修	
昭和60年 (1985年)	所長 磯田 浩 (S60.4-S61.3)		「情報処理・視聴覚教育センター」に名称変更	
昭和61年 (1986年)	所長 仙波 千代 (S61.4-S63.3)			千代田校A棟、大妻体育館竣工
昭和62年 (1987年)				
昭和63年 (1988年)	館長 加藤 憲一 (S63.4-H2.3) 所長 坂下 潔 (S63.4-H5.3)	4月 多摩校開学 図書館棟4階に多摩校分館発足	多摩キャンパス開校に伴い 情報処理・視聴覚教育センター【サービス部】設置 多摩校でパソコン使用の授業が始まり情報処理関係教室の管理実施。 LL教室1教室、情報処理教室1教室、スタジオ等設置	多摩校開設 短期大学部 (生活科、日本文学科、実務英語科)設置 千代田校B棟竣工
平成元年 (1989年)				大妻女子大学創立80周年記念式典挙行 (日本武道館)
平成2年 (1990年)	館長 隈部 直光 (H2.4-H4.3)			千代田校旧校舎閉鎖 C棟竣工
平成3年 (1991年)			千代田校教養科目『情報処理概論』の授業開講のためサポート開始	

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学 院
平成4年 (1992年)	館長 伊藤 博 (H4.4-H8.3)	9月 学長の諮問により、図書館及び情報処理・視聴覚教育センター合同運営委員会を開催し、情報処理・視聴覚教育センターの改革案を審議する。結果、情報処理・視聴覚教育センターサービス部門と社会情報学部計算機室を合併、「情報処理教育センター」とする。千代田校の教材制作部は「教育工学開発室」とする。図書館は現スタッフのレベルアップをはかりながら、視聴覚資料の整備、情報システムを活用した他大学との学術情報交流を推進する。		社会情報学部社会情報学科設置 千代田校D棟、大妻講堂竣工
平成5年 (1993年)	所長 磯田 浩 (H5.4-H6.3) 初代室長 伊平 保夫 (H5.4-H12.3)		「情報処理教育センター」設立 2部門4部署 千代田校・狭山台校にサービス部門、多摩校に計算機部門・サービス部門を設置 「教育工学開発室」設立 (千代田校) ネットワーク名称を“KOTAKA-net”と命名 多摩校-TRAIN(東京地域アカデミックネットワーク)接続 千代田校A棟視聴覚教室を映像ネットワークにより接続	
平成6年 (1994年)	所長 野崎 昭弘 (H6.4-H8.3)	4月 図書館ネットワーク開始 8月 千代田校本館1階改修工事 10月 卒論・卒研のための図書館利用指導開始		
平成7年 (1995年)		2月 千代田校本館2階改修工事 視聴覚コーナー設置 4月 図書館ツアー等の利用指導開始 7月～電算化CALISシステム事務用本稼働		
平成8年 (1996年)	館長 野崎 昭弘 (H8.4-H10.3) 所長 白川 利昭 (H8.4-H12.3)	4月 CALIS閲覧システム本稼働・BDS装置3館に設置 5月 狭山台校分館新図書館開館(旧研究棟を改修)	多摩校・千代田校ダイヤルアップ接続“KOTAKA-net”開始	狭山台校図書館棟竣工
平成9年 (1997年)			情報処理教育センター主催による英検対策講座、パソコン対策講座開催(千代田校)	
平成10年 (1998年)	館長 江本 裕 (H10.4-H14.3)		千代田校C棟情報処理実習室“KOTAKA-net”へ接続	大妻女子大学創立90周年記念式典挙行 (東京国際フォーラム) 人間関係学部 (人間関係学科、人間福祉学科)、 比較文化学部(比較文化学科)設置 多摩校学生会館竣工 草稿・テキスト研究所設立
平成11年 (1999年)				
平成12年 (2000年)	所長 村上 弘幸 (H12.4-H15.3) 室長 村上 弘幸 (H12.4-H13.3)	多摩校分館改修増床 3階～4階を図書館に		
平成13年 (2001年)			「情報メディアセンター」設立 情報処理教育センターと教育工学開発室が合併改組する千代田校に学習支援部門・教材制作部門、多摩校に計算機部門・学習支援部門、狭山台校に学習支援部門を設置 補完教育「課外パソコン講習」「課外英語力強化プログラム」をセンター所管のもと開始	ネットステーション導入
平成14年 (2002年)	館長 栗原 裕 (H14.4-H16.3)	千代田校大学校舎-新図書館棟 NTTスーパーワイドLANで接続		家政学部ライフデザイン学科、文学部コミュニケーション文化学科設置
平成15年 (2003年)	所長 玉井 浩 (H15.4-H19.3)	1月 千代田校本館新図書館棟に移転 地下2階～地上4階を図書館に入退館システム導入 地下1階にメディアコーナーを設置 パソコン40台と視聴覚コーナー設置	千代田校に情報メディアセンター 計算機部門設置 各キャンパス各教室情報コンセントで“KOTAKA-net”接続開始	千代田校短期大学部家政科第二部廃止 家政学部、文学部2年生履修地狭山台校から千代田校に変更
平成16年 (2004年)	館長 渡部 満彦 (H16.4-H20.3)	4月 文系共同図書室 千代田校図書館4階に仮設置		
平成17年 (2005年)			統合認証システム稼働	事務組織にグループ制導入 大妻学院将来構想検討委員会発足
平成18年 (2006年)				生活科学資料館設置
平成19年 (2007年)	所長 伊藤 朋泰 (H19.4-H20.3)			
平成20年 (2008年)	所長 栗原 裕 (H20.4～)	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。「計算機部門」の一部と「教材制作部門」「学習支援部門」は「メディア教育開発グループ」となる。また計算機部門業務の一部はIT化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」となる。		大妻学院創立100周年
平成21年 (2009年)			「総合情報センター」設立 [千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ] [千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ]	
平成22年 (2010年)			「システム管理室」設立 9月 CALISシステムから新システムE-CatsLibraryへ移行 ラーニングコモンズ利用開始	アカウント統合管理システムにADサーバ組み入れ

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【千代田キャンパス-大学校舎・本館】

階	棟	施設仕様	教室	収容数	特記事項
1F	A棟	視聴覚教室	150	315名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 ディスプレイ(43inch 2台)、映像ネットワーク
			155	168名	VP(2台)、パソコン(持込可)、教材提示卓 映像ネットワーク
			157	132名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			164	135名	映像ネットワーク
	C棟	モニターTV教室	182	90名	パソコン(持込可)、教材提示卓 ディスプレイ(29inch 2台)
2F	A棟	視聴覚教室	250	80名	パソコン(持込可)、教材提示卓 ディスプレイ(37inch 2台)、映像ネットワーク
			252	150名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓 映像ネットワーク
			254	150名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			257	150名	
			264	135名	パソコン(持込可)、教材提示卓 ディスプレイ(50inch 4台)、映像ネットワーク
	266	107名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓		
	B棟	情報処理教室	232	68名 (PC68台)	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS: WindowsXP
			235	32名 (PC32台)	CADシステム、大判プリンタ、製図台配置 パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS: WindowsXP
			242	79名	
			246	78名	ディスプレイ(29inch)
C棟	CALL教室	271	64名 (PC64台)	デジタル、アナログ両タイプLL授業可 VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓 PC@LL MT(Ver.5.0) OS: WindowsXP	
		281	32名		
	モニターTV教室	282	28名	ディスプレイ(29inch)	
3F	A棟	モニターTV教室	357	42名	ディスプレイ(29inch)
		視聴覚教室	366	168名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
	C棟	情報処理教室	370	60名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
4F	A棟	視聴覚教室	450	72名	
			455	108名	
			457	108名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			464	135名	
			466	107名	
5F	A棟	視聴覚教室	553	108名	
			555	108名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			557	108名	
			564	72名	
	モニターTV教室	565	72名	ディスプレイ(29inch)	
6F	A棟	視聴覚教室	653	108名	
			655	108名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			657	108名	
			664	72名	
地1	校舎地下アトリウム		音響システム装置(マイク、録音再生設備)		
地2	本館	情報処理自習室	012	60名 (PC60台)	OS: WindowsXP
モニターTV教室		101	81名	ディスプレイ(29inch)	
スタジオ		801	—	映像・音声調整卓(アナログ)設置	
8F	本館	メディア制作ルーム	801	12名 (PC12台)	学生によるコンテンツ制作施設

【千代田キャンパス－図書館棟】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	地下	PCコーナー	48席	プリンター3台
	1F	AVブース	22席	ビデオ、DVD、CD
	1F	事務室、メインカウンター、検索コーナー、新着本コーナー、展示ケース、他		
	2F	閲覧席	109席	
		開架書架、レファレンスカウンター、大型本、参考図書、検索・コピー各コーナー、他		
	3F	閲覧席	122席	
		個人用ブース	3席	
	開架書架、レファレンスカウンター、絵本、検索・コピー各コーナー、他			
	4F	閲覧席	77席	
		ラーニングコモンズ	34席	
閉架書庫、新着雑誌、寄贈雑誌、新聞、検索・コピー各コーナー、他				

【狭山台キャンパス－1号館、2号館】

階	棟	施設仕様	教室	収容数	特記事項
1F	2号館	視聴覚教室	154	336名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
2F	1号館	モニターTV教室	201	53名	202室から移動設置可
			202	40名	ディスプレイ(29inch)
			203	40名	ディスプレイ(42inch) パソコン(持込可)
			204	49名	ディスプレイ(29inch)
	2号館	視聴覚教室	205	164名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			206	164名	
			208	210名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
			209	140名	
2号館	モニターTV教室	251	79名	ディスプレイ(25inch 2台)	
		253	78名	ディスプレイ(42inch 2台) パソコン(持込可)	
3F	1号館	モニターTV教室	302	56名	ディスプレイ(29inch)
			303	56名	ディスプレイ(42inch) パソコン(持込可)
			304	40名	ディスプレイ(29inch)
			305	49名	304室から移動設置可
4F	2号館	モニターTV教室	452	129名	ディスプレイ(29inch 2台)
		情報処理教室	451	76名 (PC76台)	OS: WindowsXP Comschool(Ver.6.0) パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
		CALL教室	456	64名 (PC64台)	OS: WindowsXP PC@LL ST仕様(ver5.5) VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓

【狭山台キャンパス－図書館棟】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	1F	閲覧席	44席	
		AVコーナー	21席	ビデオ、LD、DVD、CD
		事務室、PC、開架書架、新着雑誌コーナー、検索・コピー各コーナー、他		
	2F	閲覧席	78席	
		キャレル	20席	
	開架書架、検索コーナー、他			
	3F	キャレル	8席	
閉架書庫、他				

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

【多摩キャンパス-比較棟・社情棟・人間棟・図書館棟】

棟	階	施設仕様	教室	収容数	特記事項
比較文化学部棟	1F	視聴覚教室	3100	120名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			3122	240名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 ディスプレイ（43inch2台）
			3127	132名	VP、パソコン（常設・持込可）、教示提示卓
			3130	130名	
	2F	モニターTV教室	3200	66名	ディスプレイ（29inch2台）
			3203	28名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	3206	57名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			3208	57名	
			3220	69名	
			3223	57名	
		情報処理・LL教室	3225	60名 (PC60台)	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 CaLaboEX(Ver.4.0) OS：WindowsXP
	3230		50名 (PC50台)		
	3F	モニターTV教室	3300	84名	ディスプレイ（29inch2台）
			3303	28名	パソコン（持込可）、教材提示卓、ディスプレイ（42inch）
			3306	57名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	3308	57名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
			3320	69名	
モニターTV教室		3323	57名	ディスプレイ（29inch）	
		3325	30名	パソコン（持込可）、教材提示卓、ディスプレイ（42inch）	
視聴覚教室		3329	39名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓	
モニターTV教室		3331	39名	ディスプレイ（29inch）	
図	2F	情報処理自習室	4264	60名 (PC60台)	パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 OS：WindowsXP
社会情報学部棟	1F	視聴覚教室	6113	325名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 ディスプレイ（43inch2台）
			6153	175名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓
	2F	情報処理実習室	6215	72名 (PC72台)	VP、パソコン（常設・持込可）教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS：WindowsXPとLinuxのデュアルブート
			6218	72名 (PC72台)	
			6254	64名 (PC64台)	
			6256	64名 (PC64台)	
		視聴覚教室	6213	125名	VP、パソコン（持込可）、教材提示卓
	6220		125名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓	
	6250		125名		
	6252		80名		
	6253		80名		
	3F	LL教室	6313	45名 (PC40台)	VP、パソコン（持込可）、教材提示卓、OS：WindowsXP
		情報処理・LL教室	6315	36名 (PC42台)	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓 Comschool(Ver.6.0) OS：WindowsXPとLinuxのデュアルブート
視聴覚教室		6320	175名	VP、パソコン（常設・持込可）、教材提示卓	

棟	階	施設仕様	教室	収容数	特記事項
人間関係学部棟	1F	視聴覚教室	7114	151名	VP(2台)、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
			7127	300名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
	2F	視聴覚教室	7214	151名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
			情報処理・LL教室	7217	67名 (PC67台)
		7237		69名 (PC69台)	OS: WindowsXP
		視聴覚教室	7247	110名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
			7262	52名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
		モニターTV教室	7283	33名	パソコン(持込可)、教材提示卓、ディスプレイ(42inch)
		視聴覚教室	7284	52名	VP、パソコン(持込可)、教材提示卓
		モニターTV教室	7286	52名	ディスプレイ(29inch)
	3F	モニターTV教室	7313	52名	ディスプレイ(29inch)
			7315	52名	
		視聴覚教室	7318	110名	VP、パソコン(常設・持込可)、教材提示卓
			7338	110名	
			7348	110名	
		モニターTV教室	7368	36名	ディスプレイ(29inch)
			7381	36名	
			7382	36名	
			7383	36名	
			7384	36名	パソコン(持込可)、ディスプレイ(43inch)
7385			36名	パソコン(持込可)、教材提示卓、ディスプレイ(42inch)	
7386			36名		
7387	36名	ディスプレイ(29inch)			
7388	36名				

【多摩キャンパス-図書館棟】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ/特記事項
図書館棟	3F	閲覧席	106席	PC12台、プリンター1台、ビデオ、DVD、CD 事務室、メインカウンター、新着雑誌、新聞、閉架書庫、検索・コピー各コーナー、他
		メディアルーム	30席	
		閲覧席	143席	
	4F	学習室	54席	開架書架、大型本、参考図書、検索コーナー、閉架書庫、他
		キャレル	6席	

2010年度 総合情報センター 運営委員

総合情報センター所長

家 政 学 部

文 学 部

社会情報学部

人間関係学部

比較文化学部

短期大学部

所長の委嘱する委員

事 務 局

(事務局長)

(教育・学生支援センター教育支援グループ担当部長)

(教育・学生支援センター学生支援グループ担当部長)

(多摩事務部長)

(狭山台事務室参事)

総合情報センター

(部長)

(図書館グループ課長)

(メディア教育開発グループ課長)

(多摩総合情報センター課長)





大妻女子大学 総合情報センター年報
第3号 (2010年度)

2011年7月30日発行

編集・発行 大妻女子大学 総合情報センター

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
TEL 03-5275-6013 (図書館)
TEL 03-5275-6085 (メディア教育開発センター)

印刷 勝美印刷株式会社
